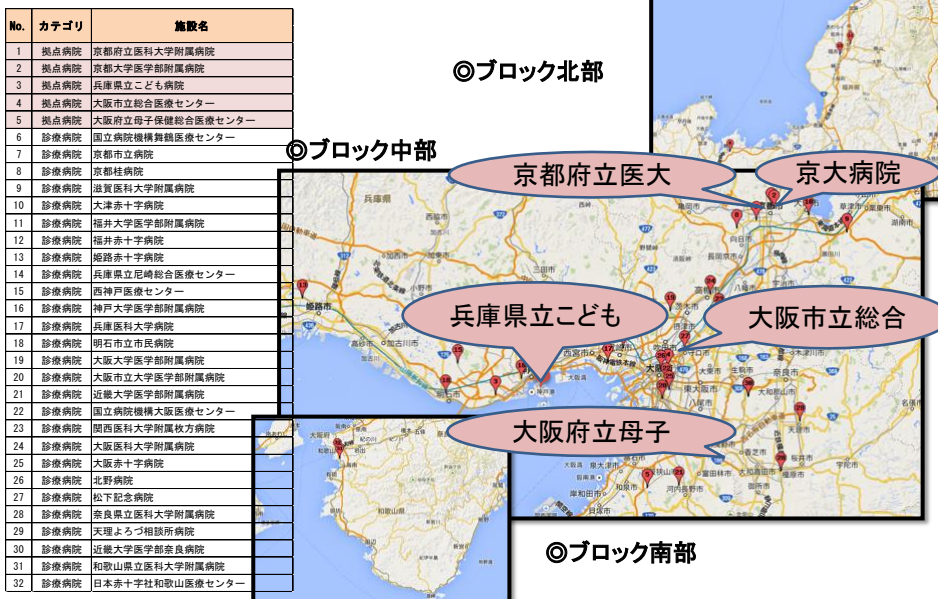


第5回小児がん拠点病院連絡協議会 近畿ブロックの取り組み

近畿ブロック小児がん拠点病院連絡協議会

近畿地域ブロック連絡協議会の構成



近畿ブロック小児がん拠点病院の連携状況

- 第9回近畿ブロック小児がん拠点病院協議会
(平成28年10月1日)
 - 各拠点病院における、診療状況の報告
 - 小児がん拠点病院加算、小児がん拠点病院がん治療連携管理料新設に伴い、各拠点病院の小児がん専門医取得状況について報告
- 第4回近畿ブロック小児がん診療病院連絡会
(平成28年10月1日)
 - 各拠点病院における、小児緩和ケアの地域連携について報告
 - 講演「小児がん医療における精神心理的ケア」
(国立がん研究センター中央病院精神腫瘍科 清水 研先生)

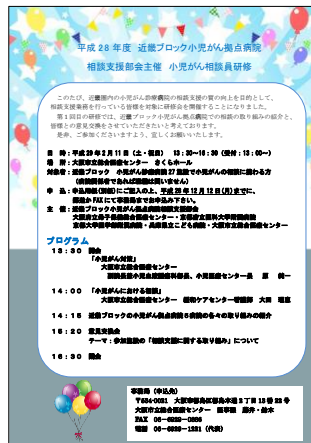
近畿ブロック小児がん拠点病院の連携状況

- 近畿ブロックの小児がん関連専門医数 -

	小児血液・がん 指導医・専門医	小児外科 専門医	小児がん 認定外科医		小児血液・がん 指導医・専門医	小児外科 専門医	小児がん 認定外科医
大阪市立総合医療センター	3	3	2	京都大学医学部附属病院	3	4	1
和歌山県立医科大学	1	3	1	福井大学	2	0	0
日赤和歌山医療センター	1	0	0	大阪日赤	1	1	1
大阪日赤	1	1	1	京都桂病院	0	0	0
大阪医療センター	1	0	0	北野病院	1	1	1
大阪大学	2	6	2	大津赤十字病院	0	1	0
大阪医科大	1	1	0	日赤和歌山医療センター	1	0	0
北野病院	1	1	1	西神戸医療センター	1	0	0
関西医大	1	2	0	県立尼崎医総合 医療センター	0	2	0
近畿大学	1	3	0	京都府立医科大学附属病院	6	5	2
大阪市立大学	1	2	0	滋賀医科大学	1	2 (1名非常勤)	0
奈良医科大学	3	1	0	舞鶴医療センター	0	1 (1名非常勤)	0
近大奈良病院	0	4	1	明石市民病院	1 (1名非常勤)	0	0
大阪府立母子保健 総合医療センター	4	4	0	京都第一赤十字病院	1 (1名非常勤)	1	0
兵庫県立こども病院	4	7	3	京都市立病院	3	0	0
県立尼崎医総合 医療センター	1	2	0	松下記念病院	1 (1名非常勤)	0	0
兵庫医科大学病院	1 (1名非常勤)	2	1	近江八幡総合 医療センター	1 (1名非常勤)	0	0 ³
神戸大学附属病院	1	1	0				
西神戸医療センター	1	0	0				
明石市民病院	1 (1名非常勤)	0	0				
姫路赤十字病院	0	1	0				

近畿ブロック小児がん拠点病院の連携状況

- 平成28年度近畿ブロック小児がん拠点病院相談支援部会
小児がん相談員研修
(平成29年2月11日)
 - 小児がん対策、小児がん相談事例についての基調講演
 - 各拠点病院における、小児がん相談支援に対する取り組みの紹介と意見交換



4

近畿ブロック小児がん拠点病院の連携状況

- 第10回近畿ブロック小児がん拠点病院協議会
(平成29年2月25日)
 - 各拠点病院における、教育に関する取り組み
 - 近畿ブロック小児がん拠点病院相談支援部会、小児がん相談員研修の報告

5

近畿地区小児がん拠点病院における教育体制

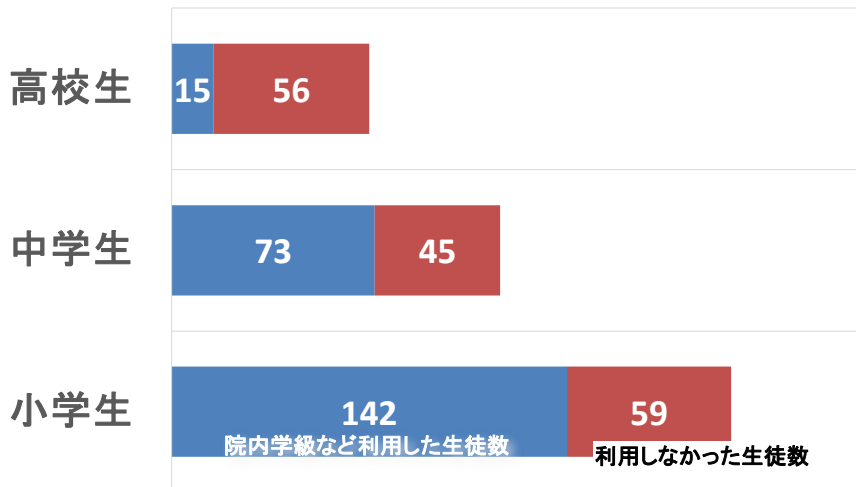
近畿小児がん拠点病院 における教育体制		近畿小児がん拠点病院 における高校教育	
特別支援学校の本校	0	特別支援学校の分教室	0
特別支援学校の分校	0	特別支援学校の教員派遣	2
特別支援学校の分教室	5	高等学校の教員派遣	1
特別支援学校の訪問	0	都道府県からの非常勤職員 の派遣	4
小中学校の分校	0	ボランティア	2
小中学校の特別支援教室	0	なし	1

#重複あり
#京都では、特別支援学校の教員の学習支援あり。
#大阪、京都では府県から、非常勤教員の派遣制度あり。

小中高生に対する教育提供体制

回答分(5施設中5施設回答あり)

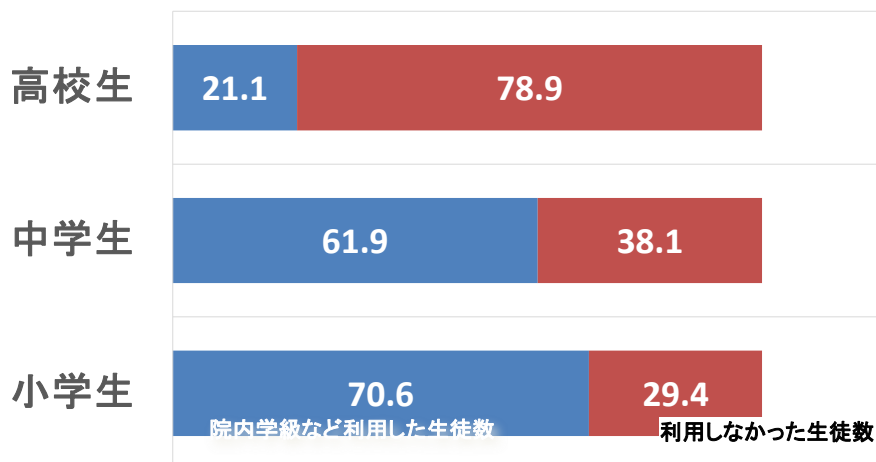
教育を必要とする生徒数(人)



小中高生に対する教育提供体制

回答分(5施設中5施設回答あり)

教育を必要とする生徒数(%)



8

小児がん患者の教育についてのアンケートより

- 高校教育の提供が不十分である。
 - ✓ 学習支援状況は改善があるが、単位の取得が困難。
 - ✓ 特に私立高校との連携が課題。
- 転籍の問題
 - ✓ 転籍をいやがるケースもある(特に私立)
 - ✓ 入院と外来を短い期間で行き来する例の場合
- 学習と治療の両立が困難になる例も。

9

高等学校の教育が十分に提供されていない

- 特別支援学校の教員などがボランティアとして教育支援
- 院内の談話室などを高校生が利用できるようにし、学習環境を整備。
- 府立高校では長期入院（または、小児慢性の対象疾患）の生徒に対し、非常勤講師の病院派遣が出来るような仕組みができた(大阪府、京都府)。
- 私立高校から、教員を派遣してもらい、単位取得し、無事進級できた症例もある。



- ✓ 在籍校および行政との連携の重要性
- ✓ 単位認定の制度自体の特例措置が必要？

10

転籍の問題

- 転籍の了承がなければ、原則として特別支援学校の学習支援は受けられない。
- 一定数、転籍を希望されない例がある(特に私立の場合)
- 原則、外来患者は対象とならない(5施設中4施設で原則不可)。



- ✓ 幅広いニーズに対応できるシステムが必要

11

大阪府小児がん拠点病院の 地域連携の取り組み

大阪市立総合医療センター
大阪府立母子保健総合医療センター

大阪府小児がん連携施設連絡会の強化

- 小児がん拠点病院のない奈良県、和歌山県も加え小児がん医療の均てん化を目指す。
- 専門職の育成、相談などに応じるために、定期的な症例検討会、多職種部の部会を開催

阪奈和小児がん連携施設症例検討会

- 第1回 テーマ 脳腫瘍、9演題
 - 8月13日(土) 午後1時30分～4時30分
 - 大阪大学中之島センター講義室
- 第2回 テーマ 造血器腫瘍、5演題
 - 11月26日(土) 午後1時30分～4時30分
 - 大阪市立総合医療センター会議室
- 第3回 テーマ 固形腫瘍、7演題
 - 1月14日(土) 午後1時30分～4時30分
 - 大阪市立総合医療センター会議室

14

阪奈和小児がん連携施設緩和ケア部会

- 第1回:9月21日(水)午後5時～7時10分
 - 大阪市立総合医療センター会議室 参加10施設24名
 - 事前アンケートからの現状・課題についての情報共有
 - 今後の会の進め方について合意
 - どの施設に小児がん患者が入院しても等しく医療や緩和ケアの提供が受けられるよう、また痛くて苦しむことがないように、まったく同じというわけにはいかないだろうが、可能な限り知恵を出し合い、最善が提供できるように努めていく。
- 第2回:1月18日(水)午後5時～7時30分
 - 大阪市立総合医療センター会議室
 - 症例検討を中心に相互にアドバイスを実施(議事録未確定)
- 第3回:5月17日を予定

15

阪奈和小児がん連携施設療養環境部会

- 第1回:10月5日(水)午後5時～7時
大阪市立総合医療センター会議室 参加10
施設17名
 - 事前アンケートをもとに、各課題について意見交換を実施
 - 食事制限、面会、学習環境、ワクチン、グリーフケアなどについて
 - 次回は、テーマを決めて話し合う。
- 第2回:3月中に開催(日程調整中)

16

京都府で小児がん拠点病院での地域連携の取り組み

京都府立医科大学附属病院

京都大学医学部附属病院

京都府における小児がん拠点病院の連携状況

- 第7回京都府小児がん拠点病院連携推進会議
(平成28年6月28日)
 - 京都府庁内ベンチャー「小児疾病患者への新たな支援体制」実施についての報告
 - 小児がん拠点病院の取組状況について報告
- 第8回京都府小児がん拠点病院連携推進会議
(平成28年11月7日)
 - 京都府小児がん拠点病院公開シンポジウムについて協議
 - 小児がん拠点病院、連携病院のみならず、行政、福祉、教育機関、市民とも連携した小児がん支援と理解を深める。

18

京都府における小児がん拠点病院の連携状況

- 平成29年京都府小児がん拠点病院公開シンポジウム
(平成29年1月28日)

主催：京都府、京都府立医科大学附属病院

京都大学医学部附属病院

- パネルディスカッション
「小児がん患者長期フォローアップの現状及び課題について」
- 基調講演
AMED研究班成果報告
 - 難治性白血病の治療開発
 - 治療合併症を減らすための治療開発

京都府小児がん拠点病院公開シンポジウム

【日時】平成29年1月28日(土)
14:00～16:30(開場13:30)

【場所】京都市立教育センター
京都府立医科大学附属病院
〒605-8585 京都市中京区西ノ京1丁目7番地

【対象者】地域の医療従事者・行政関係者(一般参加)
定員200名・事前申込制(要予約)

【プログラム】

- 1 パネルディスカッション
小児がん患者の長期フォローアップの現状及び課題について
パネリスト: 京都府立医科大学附属病院 小児科 尾崎 隆行
京都府立医科大学附属病院 小児科 尾崎 隆行
京都府立医科大学附属病院 小児科 尾崎 隆行
京都府立医科大学附属病院 小児科 尾崎 隆行
- 2 AMED(日本医療研究開発機構) 研究班成果報告について
難治性白血病の標準的治療
京都府立医科大学附属病院 小児科 尾崎 隆行
京都府立医科大学附属病院 小児科 尾崎 隆行
京都府立医科大学附属病院 小児科 尾崎 隆行
- 3 まとめ
京都府立医科大学附属病院 小児科 尾崎 隆行

19

兵庫県(中四国)での小児がん拠点 病院の地域連携の取り組み

兵庫県立こども病院

兵庫県立こども病院平成28年度事業報告

- (1) 病院移転 新病院での診療開始 5/1
- (2) 研修教育
 - ① 看護部主催研修会の実施 8/27,9/10,10/15 別紙参照
 - ② 兵庫県内の小児がん拠点病院及び小児がん診療病院、ならびに小児研修施設に勤務する医師、看護師を対象とした研究会・講習会
 - ・6/3兵庫県小児血液腫瘍症例検討会
 - ・11/25兵庫県小児がん治療講演会
 - ・1/13兵庫県小児tumor board
- (3) 情報連携
 - ・専任職員の国立がんセンターでの研修受講によるがん相談支援室の機能向上
 - ・兵庫県がん・生殖医療ネットワーク事業への参加
- (4) がん登録: 専任職員を用いた地域がん登録の実施。
- (5) 緩和医療: 緩和医療チームの活動促進、緩和ケア講習会の受講促進。
- (6) 医療連携
 - ・小児がん拠点病院近畿ブロック連携会議 10/1,2/25
 - ・兵庫県小児がん診療病院連携会議 6/3
 - ・中四国小児がん診療病院との連携 TV会議(月1回・看護、相談支援含む) 連携会議1/7 (参加17病院)
 - ・兵庫県粒子線医療センターとの連携 TV会議(随時)、月1回程度の症例検討会
- (7) 情報の収集提供体制: 小児がん患児の保護者を対象とした「がんサロン」の開催
- (8) 臨床研究 JCCGを中心に、多施設共同臨床試験への積極的参加
- (9) 近畿ブロック小児がん拠点病院相談支援部会主催 小児がん相談員研修 2/11

看護部主催研修会の実施 8/27,9/10,10/15

平成28年度 兵庫県立こども病院
「小児がん看護研修」(3日間コース)
看護部・緩和ケアセンター・びん相談支援室 主催
別添:院内および小児がんを診察する病院、訪問看護ステーションの看護部等

月日	テーマ	講師	約時間
8月 27日 (土)	小児がんの特徴と最新の動向	高津一 腫瘍内科医科 小坂直之	9:35 - 10:05
	小児がんの代表的疾患と治療概論	高津一 腫瘍内科医科 三田隆夫	10:25 - 11:45
	小児がんの化学療法	高津一 腫瘍内科医科 17岡本一博	12:45 - 13:45
	小児がんの化学療法看護	びん相談支援室 看護部 看護士 中谷秋美	13:45 - 14:15
	成期合併症と長期フォローアップ	高津一 腫瘍内科医科 看護部	14:25 - 15:15
9月 10日 (土)	小児がんの放射線療法	高津典生 フォトセッション 放射線科 放射線科医科 中谷秋美	15:25 - 16:50
	小児がん看護概論	小津看護専門看護科 中谷秋美	9:45 - 10:45
	小児がんの子どもと社会資源	医療福祉部 島 松尾さやか	10:55 - 11:25
10月 15日 (土)	小児がんをもつ子どもの現状マネジメント	緩和ケア部 看護部 看護士 中谷秋美	10:25 - 14:10
	小児の緩和ケア概論	財団法人 日本小児がん 看護士 中谷秋美	14:20 - 15:40
	小児がんをもつ子どもと家族のこころのケア	緩和ケア部 看護部 看護士 中谷秋美	15:50 - 16:50
10月 15日 (土)	小児がんをもつ子どもの補完代替療法	三木 幸明 漢方薬学部 漢方薬学科 准教授 三宅一博	9:45 - 12:15
	終末期における小児がんをもつ子どもと家族の看護	緩和ケア部 看護部 看護士 中谷秋美 松尾さやか	13:15 - 16:35

場所:兵庫県立こども病院 講堂
神戸市中央区港島南町1丁目6-7 (ポートライナー 東公園駅より徒歩約3分)

当院はH25年小児がん拠点病院の指定を受けました
前年度好評につき、内容を改善して高梨講します！
詳細、受講申し込みは別紙をご参照ください

問い合わせ先
兵庫県立こども病院
TEL:078-945-7300(代表)
FAX:078-945-1023(代表)
相談看護部内線:中谷秋美
小児看護専門看護師:中谷秋美




中四国小児がん診療病院との連携について

・中四国には広島大学しか小児がん拠点病院がないため、近畿ブロックで最西端の当院も参加する。

TV会議

医師月1回 連絡事項確認・症例検討(医療連携含む)
看護師4か月に3回 研修会等の案内、症例検討
指導相談部会4か月に1回 各病院の状況把握・
メンバー確認

連携会議 H29.1.7

参加17病院 各病院の診療状況報告が中心

兵庫県立粒子線医療センターとの連携 における小児がん粒子線治療症例

No.	年齢	性別	部位	組織型	線量分割(Gy[RBE]/fr)
1	8	女	後頭蓋窩	退形成上衣腫	54.0/30
2	6	女	胸椎	脊索腫	64.8/36
3	10	女	腰仙椎	悪性ラブドイド腫瘍	50.4/28
4	7	男	後頭蓋窩	退形成上衣腫	54.0/30
5	12	男	トルコ鞍	頭蓋咽頭腫	50.4/28
6	2	女	肝原発	胎児型横紋筋肉腫	24.0/16
7	8	女	トルコ鞍	頭蓋咽頭腫	54.0/30
8	19	女	脊髄馬尾	粘液乳頭腫様上衣腫	50.4/28
9	10	女	脊椎	卵黄嚢癌	45/25
10	6	男	左副腎	神経芽腫	19.8/11
11	14	男	脊椎	頸椎骨巨細胞腫	70.4/32
12	8	女	頭蓋底	脊索腫	照射中
13	6	男	頭蓋底	脊索腫	照射中

24

小児がんに重点を置いた新粒子線治療施設 兵庫県立神戸陽子線センター



平成29年12月 治療開始予定

兵庫県がん・医療ネットワークの取り組み (2016年1月～)

- ✓ 兵庫県内のがん患者の妊孕性温存に関して、がん治療施設と生殖医療施設との連携が円滑に行われるようにするためのシステム構築を目的として設立。
- ✓ 上記の目的のために以下の事業を行う。
 - 1) がん治療施設から生殖医療施設への患者紹介の窓口・仲介・カウンセリング
 - 2) 兵庫県内生殖医療施設の妊孕性温存治療における技術・費用の標準化
 - 3) 研究集会の開催： がん治療と生殖補助医療、がん治療を原因とする不妊症の予防と啓発、がん治療後の日と生殖活動のQOLの向上に関する研究集会の開催。

26

近畿ブロック拠点病院でのWebを用いた地域連携

- **兵庫県立こども病院**
 - 中四国小児がん診療病院との連携
 - 医師月1回 連絡事項確認・症例検討(医療連携含む)
 - 看護師4か月に3回 研修会等の案内、症例検討
 - 指導相談部会4か月に1回 各病院の状況把握・メンバー確認
- **京都府立医科大学附属病院**
 - 16回開催；京都府、大阪府、岐阜県内病院との診療連携。九州・東海地区との会議
- **京都大学医学部附属病院**
 - 5回開催；大阪赤十字病院、倉敷中央病院、尼崎総合医療センター、北野病院、福井大学、日赤和歌山医療センター、西神戸医療センター大津赤十字病院

27

近畿ブロックで開催された研修会等

1. 第8回小児がん親の会 ピアサポーター養成研修会
2017年2月4日(土)～5日(日) 京都大学
2. こどもサポートクラブ 小児がん患者・家族の勉強会
5回開催 大阪市立総合医療センター
3. 小児がん拠点病院放射線技師研修会「骨系統疾患」
2017年2月18日(土)大阪府立母子保健総合医療センター
4. 小児がん看護部研修「緩和ケアについて」
2017年3月25日(土)大阪府立母子保健総合医療センター

28

近畿ブロックのまとめ

- 近畿ブロック小児がん拠点病院協議会・小児がん診療病院連絡会を開催して診療連携を行った。
- 教育に関するアンケートを行い、高等教育の提供が不十分であること、私立学校からの転籍の問題等の課題が示された。
- Webを用いた診療連携が遠隔地との間で盛んに行われた。
- 多職種、患者家族向けの研修会が拠点病院を中心に行われ、情報発信がなされた。

29